

地域整備の方針

香取市は、中心的な諸機能が集積する市街地地域に加え、水と緑の豊かな環境が広がる田園地域、多様な機能を持つ森林地域など、さまざまな特性を持つ地域により構成されています。また、合併により広大な面積を有するに至り、市内地域間の連携が強く求められています。

この基本計画においては、地域整備の推進にあたり、3つの基本方針を掲げ、ゾーン別に地域整備の方針を設定するとともに、市全体の機能を高めるために拠点間を有機的に結ぶ「多機能連携ネットワーク」を設け、地域整備を効果的に進めていきます。

地域整備の3つの基本方針

- ①北総地域における中核都市機能の形成
- ②地域バランスを見据えた機能配置と既存施設などの有効活用
- ③広大な面積を有機的に結ぶ情報・交通ネットワークの整備

1 ゾーン別の地域整備方針

市域をその特性により「経済・文化交流都市ゾーン」「ふるさと交流・定住ゾーン」「水と緑の環境保全・活用ゾーン」の3つのゾーンに区分し、それぞれの特性に沿った地域整備を推進します。

なお、このゾーニングは、社会状況の変化に対応し隨時見直しを行うこととします。

■経済・文化交流都市ゾーン

佐原及び小見川地域の市街地、小見川工業団地周辺地域などについては、香取市の商工業、学術・文化等の主要機能が集積する中核ゾーンとして整備します。

土地利用区域	①市街地整備区域 ②産業創出区域
設定地域	<ul style="list-style-type: none"> ◎佐原地域市街地、小見川地域市街地、栗源地域大関地区 ◎小見川工業団地から東関東自動車道佐原香取ICに至る地域
整備の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎北総地域の中核都市にふさわしい主要機能（商業等）の配置 ◎学術・文化機能の集積と交流人口誘致のための機能の活用 ◎居住環境の整備による定住の促進（都市住民の受入れも含む） ◎製造業、物流業等の新たな誘致に向けた環境の整備

■ふるさと交流・定住ゾーン

香取市の基幹産業である農業を支える広大な農地、美しい農村風景とそこでの快適な居住環境が共生する特徴を活かし、都市との交流や都市住民の受入れなど、新たな方向性も推進していきます。

土地利用区域	①田園定住区域 ②農業生産区域
設定地域	◎「経済・文化交流ゾーン」を除く全地域
整備の方針	◎生産基盤としての農地整備の充実 ◎自然と共生する快適な居住環境の整備(都市住民の受入れも含む) ◎都市との交流空間としての活用

■水と緑の環境保全・活用ゾーン

美しい水郷景観が広がる利根川流域や北総台地の森林地帯等については、貴重な水と緑の環境を保全するとともに、市民の憩いの場や観光資源としてなど、多様な活用を図るゾーンとして整備を推進します。

土地利用区域	①水辺空間活用区域 ②森林保全区域
設定地域	◎利根川・与田浦周辺、黒部川周辺の水辺地帯 ◎主に市の南部に広がる丘陵地域
整備の方針	◎豊かな水辺環境、森林資源の保全 ◎水辺空間及び森林空間の多面的な活用

都市間交流軸の設定

産業活動や人の動きの広域化・流動化が進むなかで、地域間を結ぶ広域的な道路網は、人やモノが行き交う社会基盤として、その重要性はますます高まると考えられます。特に成田空港と鹿島港は、さまざまな活動が営まれる地域における大きな核であり、この地域につながる道路は、香取市にとって極めて重要な役割を持っています。

香取市と周辺市を結ぶ、重要度が高いと考えられる次の5つの道路網を「都市間交流軸」として位置づけ、その整備促進と機能の充実を図っていきます。

①東関東自動車道	◎東京・成田方面へ通じる市唯一の自動車専用道路 ◎市の中南部に佐原香取ICが設置
②国道51号	◎市の西部を西側市境(成田市)から北側市境(稻敷市)まで走る国道 ◎西側市境は、東関東自動車道大栄ICに近接
③国道356号	◎市の北部(利根川沿い)を西側市境(神崎町)から東側市境(東庄町)まで走る国道
④東総有料道路～県道大栄栗源千潟線	◎市の南部を西側市境(成田市)から南側市境(旭市)まで走る有料道路・幹線道路、西側市境は、東関東自動車道大栄ICに近接
⑤主要地方道 成田小見川鹿島港線	◎産業の核となる成田空港と鹿島港を結ぶ幹線道路 ◎市の中南部を東関東自動車とおおむね並行して走る幹線道路

ゾーン別整備・都市間交流軸 全体図



2 多機能連携ネットワークの設定

広い市域を快適で暮らしやすい定住空間、魅力あふれる交流空間としていくとともに、合併後的一体感の醸成を促進するために、市内にある公共施設や産業関連施設、地域資源などの有機的な連携を図る次の3つの「多機能連携ネットワーク」を設定します。

(a) 定住拠点ネットワーク

住民の生活に密接な関わりを持つ、保健・医療・福祉と教育・学習の分野に関する主な拠点のネットワーク化を図ることにより、居住環境の向上を目指します。

保健・医療・福祉拠点のネットワーク化

- ◎小見川総合病院と県立佐原病院、市内の一次医療機関との連携の強化
- ◎高齢者福祉・地域福祉・障害者福祉・児童福祉など各種福祉施設の連携の強化

教育・学習拠点のネットワーク化

- ◎学校教育における各機関や教職員などの連携の強化
- ◎生涯学習施設のネットワーク化の推進
- ◎情報通信ネットワークの活用による、教育・学習内容の連携と交流機会の拡充

(b) 産業拠点ネットワーク

地域ごとに特色を持つ農業や商業・工業など、地域産業の生産基盤と拠点とのネットワーク化を図ることにより、産業の振興、新たな事業の展開を目指します。

農業と商工業等の拠点とのネットワーク化

- ◎農業、畜産など、各地域の生産基盤間における連携の強化
- ◎農業と商業・工業の拠点との連携の強化
- ◎農業と観光交流拠点との連携による新たな事業展開の促進

地域商工業拠点のネットワーク化

- ◎商業・工業の地域拠点間における連携の強化
- ◎各地域の商工業拠点における他産業との連携による新事業の起業支援

(c) 観光交流拠点ネットワーク

市内の各種観光資源のネットワーク化を推進することにより、観光地としての魅力の向上を図り、交流人口の拡大、滞在時間の延長を目指します。

観光交流拠点のネットワーク化

- ◎市内各地に点在する観光資源のネットワーク化の推進

多機能連携ネットワーク図

